

# ICT活用ポータルサイトにアクセスして ICTを活用した授業にチャレンジ

ICTに関する情報を集約したサイトです



どうしてICTが必要なの？

このバナーをクリック

## 授業モデル【Tips編】

**ICT活用授業モデルTips編**

授業等でICTを活用する小さなヒント (Tips) を集めたページです。1単位時間の授業全体の展開については、今後「授業デザイン編」で提示する予定です。

小学校編      中学校編

高等学校編      特別支援学校編

## 授業モデル【デザイン編】

**ICT活用授業モデル【デザイン編】**

1単位時間の授業全体の展開について集めたページです。

学校種別: 小学校編, 中学校編, 高等学校編, 特別支援学校編

小学校

No	Design No	DESIGN	
1	21	経路地図を活用して、スピードをよりよいものとする	経路地図を活用して、スピードをよりよいものとする
2	22	クラウドを活用して、授業の共有	クラウドを活用して、授業の共有
3	23	地図をどう使うか	地図をどう使うか

ICTを活用した授業の1単位時間の流れを教科等別に掲載【令和3年3月公開】

ICTを授業で活用するヒント (Tips) を校種別に掲載【令和2年10月公開】

**何を使う**

【利用】 スマートフォンまたはタブレット、ソフトウェア (アプリ) n-Track Tuner (無料版) iPhone・Android

**それをどう使う (これで何が出来る)**

- ・本来は、楽器のチューニングするためのアプリ、任意の音程の音を発生させることができる。
- ・音色や音の強弱から出る音の振動数を測定することができる。
- ・スペクトラム・アライズ機能により、音の成分について書えることができる。

**ここが変わる、活用メリット【ICT活用 Before-After】**

高校 物理基礎「楽器の共振実験」

【 Before 】

- 気柱共振実験装置を用いて音色から出る音の振動数を測定する。

【 After 】 メリット

- 従来の共振実験に、アプリを使った測定を加えることで、測定結果を多角的に分析する力が養成される。
- スペクトラム・アライズによる音の構成や、音の波形から音声色について触れることで、探求的な学びに発展させることもできる。

ICTを活用するとこんな授業ができる...



**ICT活用授業モデル (デザイン編)** 地理地図を活用し、地域の変容の軌跡を探る

【授業】 デジタル地図から地域の変容に関する情報を読み取る。【思】 地域の変容の軌跡を把握し、変容の理由を多面的・多角的に考察する。

ICT活用のポイント

使用するICT機器 P.C.、タブレット等      使用するアプリ、クラウドサービス      5 Suite (Classroom)      経路地図      https://maps.gis.hokkai.ac.jp      多岐マップ      https://maps.hokkai.ac.jp

本時のねらい

【技】 デジタル地図から地域の変容に関する情報を読み取る。  
【思】 地域の変容の軌跡を把握し、変容の理由を多面的・多角的に考察する。

主な学習活動 (学習場面)      ICTの活用・留意点等      評価

本時の問い「私たちが暮らす地域はどのように変容しているのだろうか」

個別 ○ 仮説を立てる      本時の問いに対する仮説 (現時点での答え) を、Classroom上の共有シートに書き出す。      クラウド

導入

【問】「何をどのようにすれば、地域の変容を捉えることができるのだろうか」

【答】「地理地図」「今昔マップ」の2画面操作しながら比較する動きをプロジェクターで提示する。      ICT確認

【問】「それぞれの仮説は何だろうか」

【答】理由の考察      仮説を共有し、理由を共有する。      仮説共有

【問】「仮説の結果について話し合う」

【答】自分の仮説がどのように変化していったかを見ることが出来るシートに回答 (自動集計結果を授業者が確認)      クラウド

本時の問い「私たちが暮らす地域はどのように変容しているのだろうか」の解

【問】「グループ内で考察結果を共有し、「何が、どのように、どのような理由で変容したのか」をClassroom上の共有シートに書き出す。」      クラウド

【問】「自分の仮説がどのように変化していったかを見ることが出来るシートに回答 (自動集計結果を授業者が確認)」      クラウド

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。  
※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。  
※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【情】＝態度・学習 【意】＝意欲・動機 【創】＝主体的に学習に取り組む態度

**ICT活用ミニハンドブック**

ICTの活用を始めようとする際に役に立つようポイントを絞ったハンドブック

## ICT関連情報

インターネット上に分散している情報を整理・分類したリンク集



スマートフォンからもアクセス

